

岡山市歯科保健基本計画 (第2次) 参考項目について

<調査対象>

育児環境調査:令和5年10~11月実施 346人/ 482人(71.8%)

1歳6か月児健康診査:令和6年5~10月実施
2,400人/2,540人(94.5%)

三歳児健康診査:令和6年5~10月実施 2,376人/2,509人(94.7%)

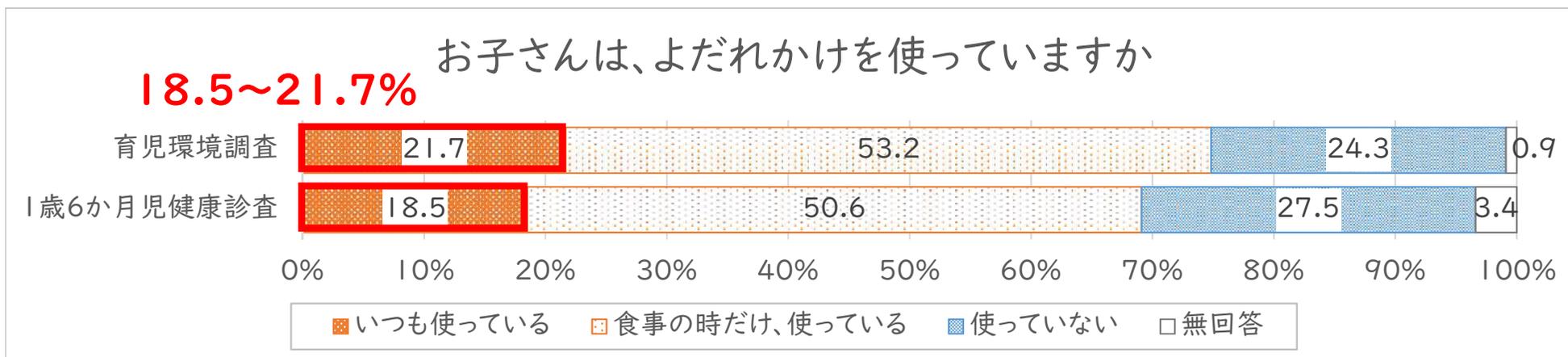
中学校1年生向けアンケート:令和6年9~10月実施
1,872人/5,626人(33.3%)

I 口腔機能の獲得、維持・向上

A. 良好な口腔領域の成長発育

a. 乳幼児期から学齢期における口腔領域の健全な育成

項目	対象者	目標値(案)
口腔機能の発達が気になる幼児の減少		
口唇がきちんと閉じており、よだれかけが不要な幼児の割合の増加 →よだれかけをいつも使っている幼児の割合の減少	1歳6か月児	減少

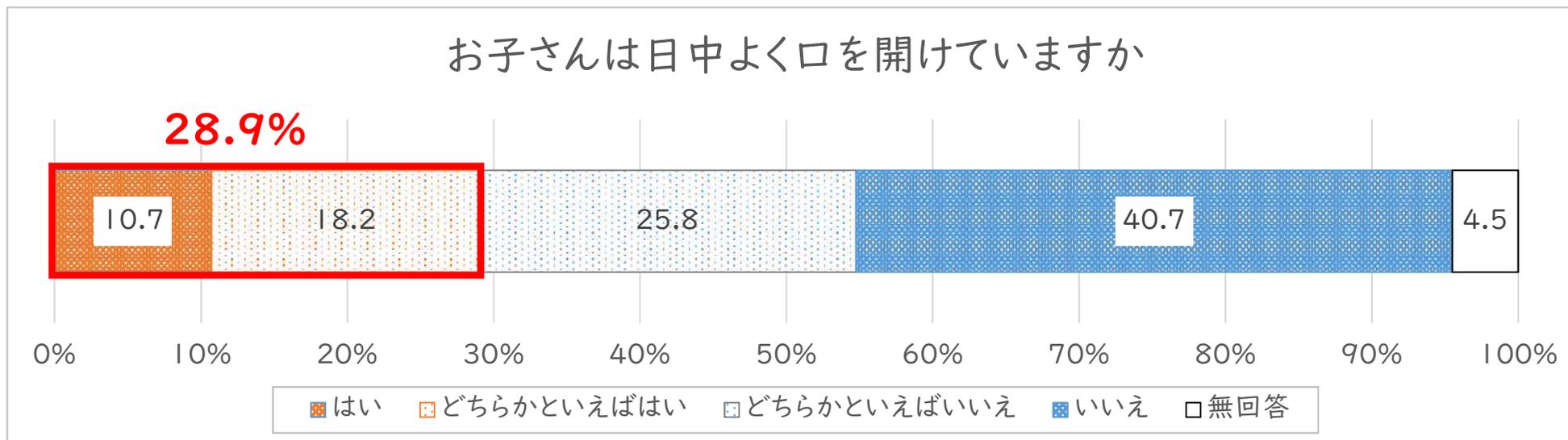


I 口腔機能の獲得、維持・向上

A. 良好な口腔領域の成長発育

a. 乳幼児期から学齢期における口腔領域の健全な育成

項目	対象者	目標値(案)
口腔機能の発達が気になる幼児の減少		
口唇の閉鎖不全である「お口ぽかん」の幼児の割合の減少	三歳児	減少



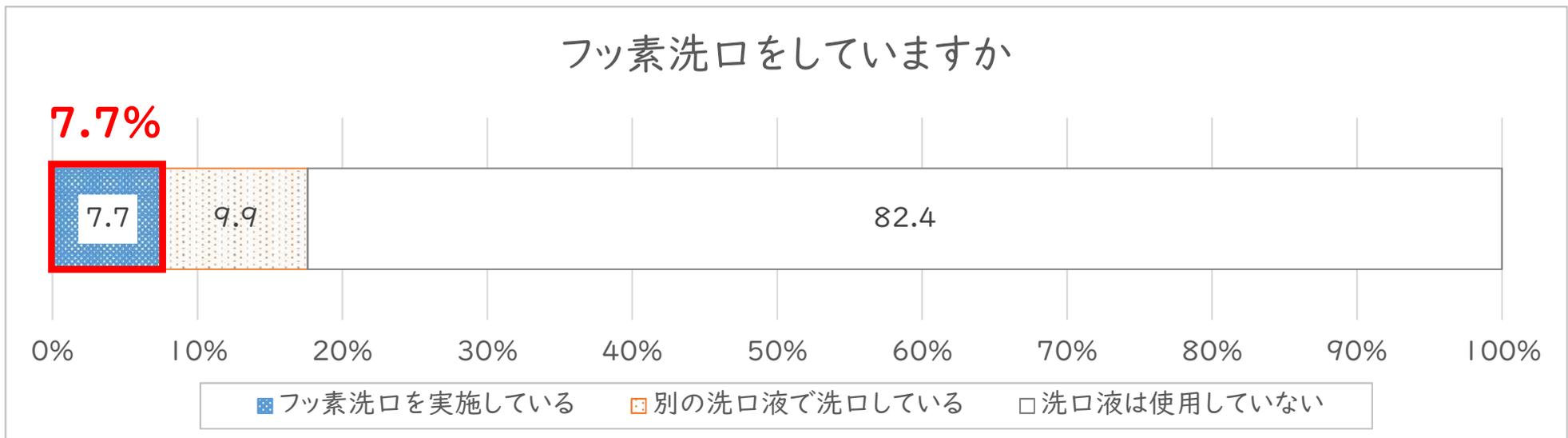
I 口腔機能の獲得、維持・向上

B. 歯科疾患の発生予防

a. 永久歯（成人）のおし歯予防対策



項目	対象者	目標値(案)
家庭でフッ素洗口を実施している生徒の割合の増加	12歳児 (中学校1年生)	50% 参考:フッ素洗口を実施している者の割合の増加



I 口腔機能の獲得、維持・向上

フッ素1450ppm配合

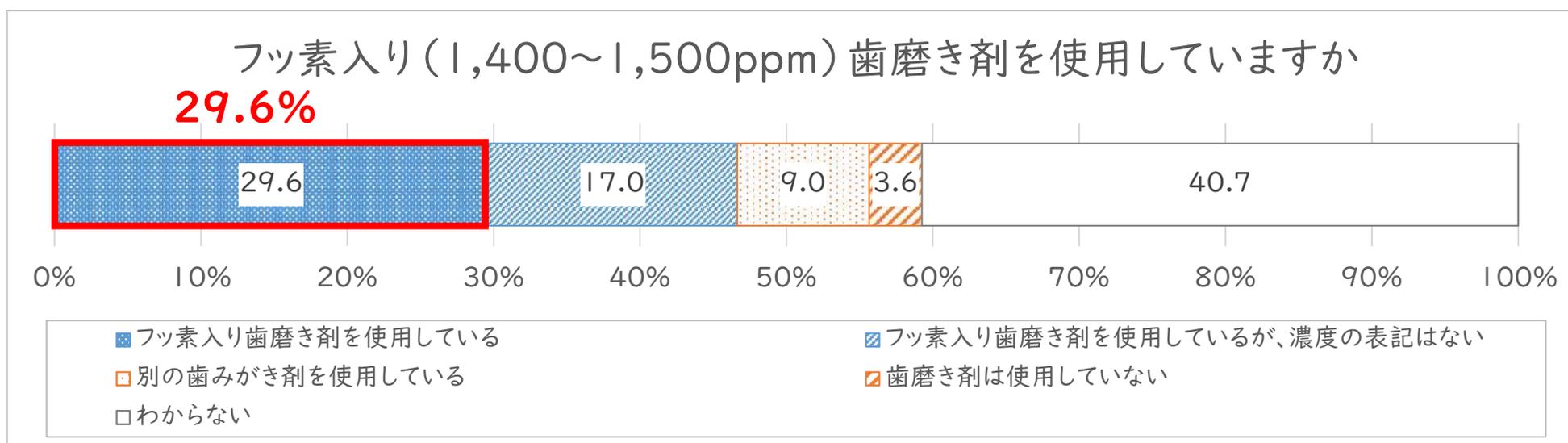
実用成分
1450ppm



B. 歯科疾患の発生予防

a. 永久歯（成人）のおし歯予防対策

項目	対象者	目標値(案)
高濃度(1,400~1,500ppm)フッ素入り歯磨き剤を使用している生徒の割合の増加	12歳児 (中学校1年生)	95% 歯磨き剤を使用している生徒が全て高濃度フッ素入り歯磨き剤を使用

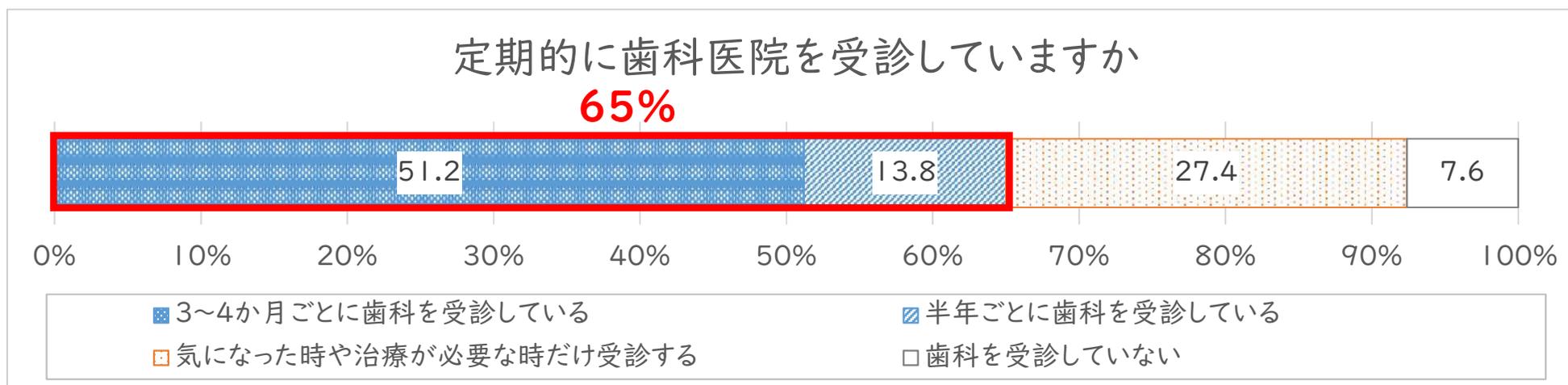


I 口腔機能の獲得、維持・向上

B. 歯科疾患の発生予防

b. 学齢期からの歯周病予防対策

項目	対象者	目標値(案)
定期的に歯科受診している生徒の割合の増加	12歳児 (中学校1年生)	95% 参考:過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加、 過去1年間に歯科受診した者の割合の増加



I 口腔機能の獲得、維持・向上

B. 歯科疾患の発生予防

b. 学齢期からの歯周病予防対策

項目	対象者	目標値(案)
歯磨き時に出血を認める生徒の割合の減少	12歳児 (中学校1年生)	10% 参考:歯ぐきに炎症所見を有する 生徒の割合の減少

